

## 団体の概要書

(その1)

団体名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん ぷらねっとえいがほぞんねっとわーく 特定非営利活動法人 プラネット映画保存ネットワーク		
設立年月日	2019年10月30日(旧2014年8月25日)	構成員数	11人
事業年度	5月1日 から4月30日		
活動目的	広く一般市民を対象に、映画フィルムと映画関連資料の収集保存および調査研究、公開を通じて、これら文化遺産の継承に寄与することを目的とする。		
活動分野	※下記の中から選択し、○をつけてください。 1 文学 2 音楽 3 美術 4 写真 5 演劇 6 舞踊 7 能楽 8 文楽 9 歌舞伎 10 芸能 11 茶道 12 華道 13 書道 14 メディア芸術 <input checked="" type="checkbox"/> 15 その他(分野名: フィルムアーカイブ)		
主な活動内容	(1) 映画フィルムの収集・復元・保存事業 (2) 映画フィルム及び各種映画の上映・公開事業 (3) 映画関連資料の収集・保存・公開事業 (4) 映画に関する調査研究事業 (5) 映画に関するイベント等の企画及び開催事業 (6) 映画を通じた地域活性化事業 (7) 神戸映画資料館の運営事業		
これまでの活動歴・活動実績	※ 年譜順に箇条書きで記入してください。 1974年 安井喜雄ら映画仲間がプラネット映画資料図書館を大阪に設立。 2006年 神戸において、プラネット映画資料図書館の資料をもとにした映画文化施設づくりが、兵庫県・神戸市の協力を得て進展。 2007年3月25日 神戸映画資料館開館。新長田まちづくり株式会社が、「兵庫県商店街活性化事業」を活用する事業主体となり、安井が代表をつとめる神戸プラネットが運営委託を受ける(2009年4月より神戸プラネットが独立採算事業として運営)。 2014年 一般社団法人神戸映画保存ネットワークを設立。 2019年 特定非営利活動法人プラネット映画保存ネットワークを設立		
主な鑑賞機会提供の取組み	※ 取組みの対象者、直近の実績、評価などについて具体的に記入してください。 ほぼ毎週、週末を中心に上映会や講座を開催。以下は継続開催している主な企画。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ロシア・ソヴィエト映画 連続上映」今年6月に27回を数える人気企画</li> <li>・ 「連続講座: 20世紀傑作映画再(発)見」映画史の節目を刻んできた傑作を毎回一本ずつ上映し検証してゆく。</li> <li>・ 「神戸発掘映画祭」今秋3回目。歴史に埋もれた作品を発掘、再評価する。</li> <li>・ 「みんなで発掘・宝探し試写会」(2013年度より定期的に開催/神戸市「まちの再生・活性化に寄与する文化芸術創造支援助成対象事業」)</li> </ul>		
ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (URL: <a href="http://kobe-eiga.net/">http://kobe-eiga.net/</a> ) / 無		

## 寄附者へのPR等

（その2）

<p>団体の課題 （困っていること、改善すべきだと考えていること等）</p>	<p>神戸に開設して12年経つ民営のフィルムアーカイブである神戸映画資料館と、その所蔵資料の調査事業を担う一般社団法人神戸映画保存ネットワークを一体化し、NPO 法人プラネット映画保存ネットワークを設立しました。2014年より文化庁の「美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業」を受け、フィルムの調査研究が飛躍的に進んできました。しかしながら、神戸映画資料館の恒常的にかかる運営経費（家賃や人件費等）はあらゆる補助制度の対象から外れるため非常に不安定な運営状態です。今回の「神戸市文化芸術団体支援事業」への登録を好機と捉え、NPO 法人化することで運営体制を整え、市民の志しとしての寄付を受けるに相応しい活動を行ってまいります。</p>
<p>団体のビジョン （目指していること、支援を受けて取り組みたいこと等）</p>	<p>個人のコレクションから始まった民営の資料館として、常に人と予算が不足するなかで見えてきたビジョンがあります。それは、独力ではなく、関心を持ってくださる方々とともにアーカイブ活動そのものを行うこと——一般の映画好きのみなさんとパンフレットやポスター、チラシの整理を行ったり、専門家の方々と研究対象となる資料の映画史的な価値を一緒に見出す——そんな開かれたフィルムアーカイブをわたしたちは目指しています。支援を受けて取り組みたいことは、まず第一に運営体制の安定化、次に資料の適切な保存環境の構築です。</p>
<p>寄附者に対するPR</p>	<p>神戸映画資料館は、映画フィルム、書籍、ポスター、機材などを収集・保存・公開する施設です。収蔵するフィルムは16000本以上で、国内にある民営のフィルムアーカイブとしては最大規模です。フィルムアーカイブとは映画を未来に残すための博物館で、入場料収入などの営利事業だけで運営することはほぼ不可能です。開館から約10年は、館長が一部経費を負担するなどして維持してきましたが、この体制では「未来に残す」という重要な役割を果たすことができません。そういう事業は国や地方自治体に任せれば良いと思われるかもしれませんが、民営だからこそ残すことができた資料（かつては軽視されていた分野のものなど）がたくさんあります。一個人からはじまったこのアーカイブをみなさんのお志しで支えてください。</p>
<p>寄附者への返礼品</p>	<p>1口1万円 鑑賞券2枚</p>